

令和2年4月21日

4月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では原木生産、各共販所への入荷とも順調である。製品が動いていないため、スギ、ヒノキとも柱材は値下がり、中目材は保合。間伐材、小径木は動いているが、価格は低調である。大型製材工場の手持ち在庫にバラツキはあるが、買い控えの傾向にある。一物件毎の入札枚数は少ないが、元落ちは極めて少ない。

群馬県では年度末で原木の出材は一段落した。需要も少なく集荷は容易で原木在庫は十分ある。依然、地場需要は低調で、大型物件や公共工事の受注残で何とかつながっている。製品価格は低位安定で推移している。売れ行き不調のため製品在庫が増加傾向にある。製品市場の立ち合いが中止になる所が多く、売れ行きに不安感がある。住宅建材の納期末定のもがあり、工務店に不安が広がっている。

2. 米材

カナダ私有林最大手のMOSAIC社の伐採は再開されていないが、昨年造材分の輸出公示(Advertise)が行われ、3/25、4/1の2回で約15万 m^3 を公示、うち半分は中国向けソートである。MOSAIC社の輸出公示は行われたが、依然公示中で新規オファーは出ておらず、輸出向け港頭在庫の払底状態は変わらない。新型コロナウイルスによる米国内の製品需要急減による工場の減産で米国内原木価格は下落。これに伴い輸出価格も反落の方向にある。4月積みIS級並の輸出価格(推定)は前月比-30ドルの\$840になった模様。ランダムレンジス紙発表の15種平均価格(4/3)は\$358/Mで、2月末に比べ16.2%減となり、新型コロナウイルスの影響で米国市場の動きは悪く、価格は急降下している。また北米でも空コンテナの問題により積み遅れが出ている。

2月の原木入荷量は159千 m^3 と前月に続き低調、1~2月累計で302千 m^3 (前年同期比26%減)。カナダからの入荷が前年同期比で半減となった。出荷量も149千 m^3 、1~2月累計で296千 m^3 (同25%減)。在庫量は増加し183千 m^3 で1ヵ月を回復。国内米マツ製材工場の稼働は保っているが、荷動きは落ちている。東京木材埠頭の3月入荷は16千 m^3 (前月比108%増)、出荷は16千 m^3 (同11.1%増)、在庫は30千 m^3 (同1.5%減)。

3. 南洋材

マレーシアでは全土で3/18~31まで移動制限、公共・民間オフィスの閉鎖措置が発令されたが、4/14まで延長となった。サラワク州では木材産業の一部操業が認められている。伐採現場は操業しているが、森林局が閉鎖し、物流も止まっており、3、4月は激減する見込み。PNGでは非常事態宣言が2ヵ月延長となり、木材船は入港前に14日間の隔離を条件に入港を許可する通達があったが、現地では4/1以降、船積みはストップしている。中国でフリー板生産が3月に入り再開し、生産・出荷も順調になってきたが、市況は全般的に悪い。

4. 北洋材

対日大手各社の原木在庫は潤沢。新型コロナウイルスで大統領から操業停止勧告が出されているが、操業中止の報告はなく、各社とも様子見の状態である。日本側との新規契約は実質停止で契約残は少なくなっている。カラ/エゾ原木とも中国からの引合いが復活し、\$15/m³程度の値戻し。アカマツ完成品はピーク時に比べ\$20/m³程度の値下げ提示だが、日本市場が不透明で交渉につけない状況。アカマツ原板の引き合いはあり、日本側も良材、適正価格であれば、買付を継続したい意向である。現地挽完成品の入荷は順調で、DIY/ビルダー現場等の直需向けに安定した出荷が続いている。ただ流通在庫が増えており、新型コロナウイルスでの需要減でかなりの警戒感が出ている。4月予想の原木入荷・出荷量とも2千m³、在庫量は17千m³。製品は入荷量(東京+川崎)23千m³、出荷量20千m³、在庫量51千m³。2月末の在庫は史上最高値をさらに更新した。

5. 合板

合板用原木の東北産カラマツ、スギともに暖冬の影響で出材は安定しており、落ち着いている。ロシア材は大きな変化はないが、新型コロナウイルスの影響で価格は先行き不透明。米材は伐採が続けられているが、価格は弱含み傾向。南洋材は原木伐採が止まっており、先行き不透明となっている。

2月の国内合板生産量は27万m³、うち針葉樹合板は26万m³、出荷量は23万m³となり、在庫量は15.7万m³、うち構造用合板の在庫は13.2万m³となり、大幅に増加した。針葉樹合板はプレカット向け、ルート向けとも荷動きが悪く、強い停滞感が出ている。各工場は先行き不透明から減産で価格を維持する動きとなっている。輸入合板は強い停滞感が続いており、価格は弱含み推移。2月合板輸入量は17.5万m³で、中国産が極端に少ないため、かなりの低水準になった。インドネシア、マレーシア産は平均的な入荷である。インド

ネシアでは原木価格が高値安定となっており、生産量を抑える動きもある。マレーシアではサバ州の工場は操業停止となっている。原木伐採が停止しているため、原木の不足感が出始めている。

6. 構造用集成材

3月、4月のラミナ入港は減少。フィンランドでのストライキの影響が6月以降に出てくることが予想され、入荷はさらに不安定になる見込み。新型コロナウイルスの影響拡大により現地で減産の動きがあり、夏以降の入港に不透明感が増している。ラミナ、構造用集成材ともに第2・四半期交渉で10~20ユーロの値上げとなった。新型コロナウイルス発生以前から船積みの遅れが発生しており、コンテナの減少により供給面での懸念が高まっている。スギEWの不足感は和らいだ。RW積層間柱は荷余り気味であるが、WW柱は不足気味。

7. 木材チップ

新型コロナウイルスの影響で荷動き鈍く、原木出材も減少傾向。解体材は物件の大幅な減少により発生量に急ブレーキが掛かっている。製紙用チップは使用は安価な解体系のピンチップ（破砕チップ）であり、各社とも増集荷に動いている。燃料用チップは新規バイオマス発電所の稼働、試運転開始、並びに解体材の発生減少が相まって、解体材及び生木の消費量は旺盛に推移している。製紙用チップの原木在庫量は潤沢にあり、ピンは在庫がタイト。燃料用は在庫が急激に減少。新型コロナの影響で市況が急激に変動している。

8. 市売問屋

材木店の仕事が減っているのか、市場への引き取りが少なく、見積も減ってきている。市場での立ち合いのセリが見られない。スギ、ヒノキ構造材に不足感はないが、荷動きは悪い。外材構造材も同様。スギの羽柄材、造作材とも順調に入荷している。新型コロナウイルスの影響が材木にも及んで来ている模様である。

9. 小売

新型コロナウイルスの影響が材木店、工務店、下職の全てに出てきている。国産材製材品の荷動きは鈍い。輸入材の遅延で国産材にシフトする動きも見られるが、先行きは不透明。欧州材は手当しづらい物も出ているが、価格は全体に保合。ロシア材の良材の入荷は少ない状態が続いており、価格は強保合。今後の現場の遅れなどが懸念され、造作材は当用買いに徹している。輸入造作材の供給が減っているが、国産材はスギ、ヒノキを中心にある程度動いている。集成材は現場の遅れによる影響が出て来ている。また中国からの入荷も不透明感がある。合板は全体的に現場がストップしており、不需要期とも重なり荷動きは鈍い。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

令和2年4月21日

1. 主要外材入出荷在庫量

| | | 入荷量 | 出荷量 | 在庫量 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 米材 | 丸太 | → | → | → |
| | 製材品 | ↘ | → | ↘ |
| 北洋材 | 丸太 | → | → | → |
| | 製材品 | → | ↘ | ↗ |
| 南洋材 | 丸太 | ↘ | → | ↘ |
| | 製材品 | → | | |

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

| 国内製造量 | 輸 入 量 | | |
|-------|-------|--------|-------|
| | 計 | インドネシア | マレーシア |
| ↘ | → | → | → |

3. 価格動向

| 樹材種 | 形 状 | 取引条件 | 樹種・寸法等 | 動向 |
|----------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|----|
| 国産材 | 丸太 | 卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し) | スギ柱材 (3m) 2等 | ↘ |
| | | | スギ中丸太 (3.65m) 2等 | → |
| | | | ヒノキ柱材 (3m) 2等 | ↘ |
| | | | ヒノキ中丸太 (4m) 2等 | → |
| | 製材品 (関東近県産 板は東北産) | 首都圏・市売り 価格 | スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等 | → |
| | | | スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等 | → |
| | | | スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等 | → |
| | | | スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等 | → |
| | | | スギタルキ 3.0×4.0×3.65m | → |
| | | | ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等 | → |
| ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等 | → | | | |
| ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等 | → | | | |
| 米材 | 丸太 | 産地価格 | 米マツ ISタイプ | ↘ |
| | | 国内卸売価格 (京浜・オントラ) | 米マツ ISタイプ コースト | → |
| | 製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き) | 東京・問屋店頭 渡し価格 | 米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m | → |
| | | | SPF 2×4 J-Grade R/L | → |
| | | 米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16” 13’ | → | |
| | | 米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m | → | |
| 南洋材 | 丸太 | 産地価格 | メランティレギュラー | ↗ |
| | | 東京・水面筏 渡し価格 | メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 | → |
| | | メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用 | → | |
| | 製材品 | 産地価格 | ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) | ↗ |
| 東京・問屋店頭 渡し価格 | | 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等 | → | |
| 北洋材 | 製材品 | 国内卸売価格 (京浜・オントラ) | アカマツ (KD) 30×40 上級 | ↘ |
| | | | アカマツ (KD) 16×40 上級 | ↘ |
| 欧州材 | 製材品 (現地挽き) | 東京・問屋店頭 渡し価格 | ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC | → |
| | | | ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺 | ↗ |
| 集成材 | 国産 | 東京・問屋店頭 渡し価格 | ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ | ↗ |
| | | | スギ 無化粧 JAS 5プライ | → |
| | 欧州産 | // | 10.5×10.5×2.98m | ↗ |
| 合板 | 国産 | 東京・問屋店頭 渡し価格 | タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6 | → |
| | | | タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6 | → |
| | | | 型枠 12.0mm厚 3×6 | → |
| | | | 針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆ | → |